

# 銘傳大學 99 學年度研究所碩士班招生考試

## 應用日語學系碩士班

### 第三節

#### 日文試題

(第 1 頁共 3 頁) (限用答案本作答)

可使用計算機  不可使用計算機

#### 一、語句。21%

(一)、振り仮名。(各 1%)

1. 障子 2. 試みる 3. 努力 4. 価値観 5. 半ば 6. 景気 7. 祈る

(二)、正しいものを選びなさい。(各 2%)

- 1 ( ) 経営を【a 合理 b 合理的 c 合理化 d 合理性】する必要がある。
- 2 ( ) 他人の意見も、意外に自分の研究に【a プラス b フランス c プラン d フライト】になるものだ。
- 3 ( ) 試合で優勝して、コーチも【a 耳 b 目 c 鼻 d 頭】が高い。
- 4 ( ) 何回も同じ間違いをすることは、不真面目だと【a いわざるをえない b いう一方だ c いうわけにはいかない d いわんばかりに】。
- 5 ( ) 次の文の \_\_\_ をつけた言葉は、どのように読みますか。最も適当な読み方を、a・b・c・d から 1 つ選びなさい。  
→労働条件について交渉している。  
【a こしょう b こうしょう c こしゅう d こうしゅう】。
- 6 ( ) 下線をつけた言葉は、ひらがなでどう書きますか。同じひらがなで書く言葉を、a・b・c・d から 1 つ選びなさい。  
→論文の要旨を 1 枚以内にまとめなさい。  
【a 様子 b 融資 c 柚子 d 用紙】
- 7 ( ) ( ) の部分に入れるのに最も適当なものを、a・b・c・d から 1 つ選びなさい。  
→靴のひもが ( ) ているから、ちゃんと結びなさい。  
【a はなれ b ほどけ c ずれ d はずみ】

#### 二、次の文を日本語に訳しなさい。10%

1. 情人眼裏出西施。(2%)
2. 二加一等於三。(3%)
3. 他因罹患流感，正為高燒所苦。(5%)

本試題兩面印刷

#### 三、文法。20%

(一)、最も適当なものを 1 つ選びなさい。(各 2%)

- 1 ( ) 電車の中ではとくにすることがなくて、見るとも【a なしに b なくて c ないで d ないと】窓の外を見るしかなかった。
- 2 ( ) まさか彼が立派な学者に【a なっては b なるうとは c なるには d なったには】思わなかった。
- 3 ( ) 院生にとって、論文を理解する力は【a 欠くべからざるものだ b 欠くべからずものだ c 欠くべくものだ d 欠くべきものだ】。
- 4 ( ) A: 「大学時代、テニス部だったの。」  
B: 「【a ですから b だから c したがって d それなのに】あんなに上手なのね。」
- 5 ( ) 患者は一晩中【a 苦しい b 苦しに c 苦しげ d 苦しげに】うめいていた。
- 6 ( ) A: あ、ドアが少し開いていますね。大丈夫ですか。  
B: 空気が速く換気できるように、少し【a 開いている b 開けている c 開いてある d 開け

# 銘傳大學 99 學年度研究所碩士班招生考試

## 應用日語學系碩士班

### 第三節

#### 日文試題

(第 2 頁共 3 頁) (限用答案本作答)

可使用計算機  不可使用計算機

てある】んです。

(二)、例をあげながら、助動詞「らしい」と接尾辞「らしい」の区別を(日本語で)述べなさい。(8%)

#### 四、次の文を読んで、質問に答えなさい。20%

(一)、漢字制限反対の講演会 漢字制限。新送りがな実施に反対の文化人で組織している国語問題協議会(理事長小汀利得氏)では二十日午後零時半から千代田公会堂で国語問題講演会を開いた。講師は評論家白井吉見、山本健吉、作家井上靖、東大教授時枝誠記、経済評論家木内信胤氏ら九人で、有料講演会にもかかわらず八百人と満員。

井上氏が「国語問題における私の考え方」と題して「漢字の性格を無視した制限や送りがなは文字による文化遺産を否定するものだ」とのべたのをはじめ、各講師とも「国語政策はもっと慎重に考える必要がある」と具体的な例をあげて国語審議会のきめた“文字の使い方”に批判を加えた。(1960.2.21『読売新聞』)

問一：下線の部分を中国語に訳しなさい。(2%)

問二：講演者たちはどうして漢字制限に反対か。(4%)

(二)、受験地獄の季節 教師と親の誤った名誉欲 中野好夫

毎年このころになると、受験地獄という年中行事がある。そして今年もいままさにたけなわというところらしい。いかに「いちじょう地獄」のこの世とはいえ、受験などという名の地獄までとり添えるのでは、まことにやりきれない沙汰の話だが、それがどうにもならぬのだから情けない。

ところがこの地獄、困ったことに、はたから見ているかぎりでは、喜劇としてしか評しようもないのにかゝらず、当人ないしは直接周囲の人たちにとっては、なんとも救いのない悲劇であることが、いっそうに悪い。だから、以下ぼくの書くことも、そうした当面直接の関係者にとっては、おそろくひどくヨソヨシいものだろうし第一お気に入らぬに相違ない。いや、お気に入らぬくらいならまだいいが、さぞかしひどく怒らせることになるかもしれぬ。だが、それもどうもやむをえない。つまり、受験地獄のさわぎ、どこか男女の色事に似たところがある。なぜまたあんな女に(ないしは男に)あゝまで血道を上げたものか、などというのはつまりその傍目の勝手な言い分で当の本人に、とうてい耳になど入らぬのもやむをえない。当人と傍観者と、そんなにも距離のある問題なのだ。

もともとこの受験地獄というこの国の名物は、下は小学校(あるいは幼稚園か?)いわゆるあの優秀校選びというやつに基因するらしい。現にここ数年後に予想される敗戦子ブームの世代が通過する一時期はしばらくおき、現在の状態では、必ずしも絶対の受験地獄というものはありえないはずだ。…

(1960.3.8『読売新聞』)

問一：下線の部分を中国語に訳しなさい。(4%)

問二：筆者はどうして「受験地獄」が「男女の色事に似たところがある」と述べているのだろうか。(4%)

(三)、①～⑥の選択肢から正しいものを選びなさい。(各1%)

吾輩は猫である。名前はまだ無い。

どこで生れたかとんと見当がつかぬ。何でも薄暗い①【a しめしめ b じめじめ c ちめちめ】した所で②【a ニヤリニヤリ b ニャーニャー c ミョウミョウ】泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間というものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生という人間中で一番野蛮な種族であったそうだ。この書生というのは時々我々を捕えて煮て食うという話である。しかしその当時は何という考もなかったから別段恐いとも思わなかった。ただ彼の掌に載せられて③【a スー b ズー c ツー】と持ち上げられた時何だか④【a クワクワ b ザワザワ c フワフワ】した感じがあったばかりである。掌の上で少し落ちついて書生の顔を見たのがいわゆる人間というものを見始であろう。この時妙なものだと思った感じが今

# 銘傳大學 99 學年度研究所碩士班招生考試

## 應用日語學系碩士班

### 第三節

### 日文試題

(第3頁共3頁)(限用答案本作答)

可使用的計算機 不可使用的計算機

でも残っている。第一毛をもって裝飾されべきはずの顔が⑤【a サラサラ b つるつる c カラカラ】してまるで葉っぱだ。その後猫にもだいぶ逢ったがこんな片輪には一度も出会わした事がない。のみならず顔の真中があまりに突起している。そうしてその穴の中から時々⑥【a ふうふう b ぶんぶん c びゅうびゅう】と煙を吹く。どうも咽せぼくて実に弱った。これが人間の飲む煙草というものである事はようやくこの頃知った。  
(夏目漱石『吾輩は猫である』)

#### 五、誤文修正。19%

(一)、次の文に不適當なところがあったら、それをマークしてなおしなさい。間違いがなければ“○”を付けなさい。(10%)

1. 林さんは一日も早く国へ帰りたいです。
2. ここの海はきれいです。夏になると是非泳ぎに来てください。
3. ベルがなったら一斉に書き出してください。
4. 期末レポートは必ず月曜日の午後5時まで出してください。
5. (水不足で大変な状態になっていますが) 今日雨も降りそうもありませんね。

(二)、次の「訂正」は妥当かどうかを示したうえで、理由を述べなさい。(9%)

1. 本研究は、社説の構造的要素を究明し、日本語教育などに応用させたい。  
→ (訂正:) 本研究は、社説の構造的要素を究明し、日本語教育などに応用したい。
2. 林(1995)『日本人』、陳(1997)『日本の有名人』、田中(2003)『日本のエリートたち』には、吉田がA集団の責任者となったことについて触れられていない。  
→ (訂正:) 林(1995)『日本人』、陳(1997)『日本の有名人』、田中(2003)『日本のエリートたち』には、吉田がA集団の責任者となったことに関する記述は見られない。
3. こういう学習環境で学習者が作文を書く時、誤用を起こす原因として母語干渉は大きいと思われる。  
→ (訂正:) こういう学習環境で学習者が作文を書く時、母語干渉が誤用を起こす原因となる可能性は大きいと思われる。

#### 六、次の文章(村上春樹)を読んで、(日本語で)質問に答えなさい。10%

真由美が最初に鎖骨を砕いた若い男は、スポイラーのついた白いニッサン・スカイラインに乗っていた。相手の名前は知らない。日曜日に家の近くを散歩していたら「ドライブに行かない？」と誘われたのでなんとなく乗ったのだが、江の島の近くでむりやりにモーテルにつれこまれそうになったので、傍らにあったスパナを手にとって相手の肩のあたりを思いきり叩いた。するとグシャッという音がして、鎖骨が折れたのである。

譯一: 真由美第一次敲碎鎖骨的年輕男子所駕駛的, 是一輛裝上擾流器的白色日產 Skyline。她不曉得對方的名字。星期天, 當她在住家附近散步時, 對方邀她說「要不要去兜兜風?」她便糊裡糊塗地上了車; 不料來到江之島附近時, 差一點被那男人強行帶去汽車旅館, 於是她順手拿起旁邊的士巴拿, 不顧一切地向他肩膀一帶敲下去。結果傳來「咯嘞」一聲, 他的鎖骨斷掉了。 「士巴拿(螺絲鉗)」 葉蕙譯

譯二: 真由美第一次把人家鎖骨敲碎的年輕男孩子, 是開裝有擾流器的白色 NISSAN Skyline 的。對方的名字不清楚。星期天早晨她在她家附近散步時, 人家邀她「要不要一起去兜風?」她就迷迷糊糊地上了車, 但在江之島附近卻差一點被勉強帶進汽車旅館, 這才順手拿起身旁的螺絲鉗往對方肩上使勁敲下去。於是發出咯嘞一聲鎖骨便斷了。 「螺絲鉗」 賴明珠譯

問一: 「譯一」と「譯二」はそれぞれどういう翻訳の手法(訳し方)を用いたかを示しなさい。(5%)

問二: 「譯一」と「譯二」のどちらがいいと思うか、その理由を述べなさい。(5%)

試題完